正月を向えるにあたり

代表取締役　三田雅憲

いよいよ2016年も終わり新しい2017年が始まります。年の瀬を前に2016年を振り返ってみますと、何よりも千葉白井工場に仕事が忙しく入りだし、大阪からさらに2名着任してもらったことを思い出します。関東地区への工場開設が将来的に会社存続のキーポイントになることの説明を社員みんなに十分理解してもらえぬままの船出でしたので、関東へ行ってもらう社員には「なんで俺が？」的な部分があったのかもしれません。しかし今になって思うとその社員も大きく成長してくれ、大阪に居続ければ気づかなかったことを気付いてくれるようになりました。今後も社員の成長のためにも千葉・大阪の人的移動を考えておりますので皆様及びご家族の理解をよろしくお願いします。

また、今年は本社大阪で2名、千葉で2名の合計4名との出会いがありました。特に千葉では営業職が加入してくれましたので私の千葉出張が減り、身体的にも助かるようになりました。営業という仕事をやったことがなく、当初は私のダメ出しも多く悩んだこともあったと思いますが、素直に理解し改善していってくれている姿に感謝です。新しいお客様との対応は難しいことも多いと思いますが、ぜひ頑張って千葉白井工場を立派に運営していってもらいたいと思います。また本社に目を戻すと下半期より仕事が忙しくなったのは良いのですが、社内外でのクレームやり直しが多くみられ、品質に関しても決して良いものが出ているとは言えない状況になりました。仕事が多くてできないという発想ではなくて、この量をこなす為にどうしていったら良いのかを、お互い考えて改善していくことで新しいステージに立つことができると思います。

2017年は新しいお客様の仕事が大阪本社及び千葉白井工場とも増えていくと思います。より個人の技術力（スキル）を磨き、お客様に喜ばれる仕事を増やしお互いに喜びあえる関係になっていければと願います。